

様式1(主な取組)

活動指標名	こども医療費の助成実施(件数)				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	1,691,033	1,722,259	1,825,088	1,426,497	1,605,290	入院: 中3まで 通院: 就学前まで	100.0%	1,456,167	順調	活動概要 こどもの疾病の早期発見と早期治療を促進するために、市町村が実施するこども医療費助成事業において、対象経費の2分の1を補助した。(令和3年度見込:1,605,290件) 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 こどもの医療費へ補助を行うことにより、こどもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、こどもの健全な育成とともに保護者の経済的負担の軽減を図った。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度からの通院対象年齢の拡大に向け、市町村、関係機関と連携し、円滑な実施を図っていく。 通院対象年齢の拡大とともに現物給付による実施についても、あわせて協議を進める。 						<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度からの通院対象年齢の拡大とともに、全ての市町村において現物給付により実施できることとなった。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・令和4年度からの制度拡充を円滑に実施できるよう、引き続き市町村等と連携していく必要がある。

○外部環境の変化

・令和4年度からの制度拡充を円滑に実施し、安定した事業運営を図る必要がある。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・令和4年度からの制度拡充を円滑に実施できるよう、引き続き市町村との意見交換の場を設けていく必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・令和4年度からの制度拡充を円滑に実施し、安定した事業運営を図るため、引き続き市町村との意見交換を行っていく。